



春  
の  
樂





歌友之記

江都

春乃急を吹く西より来る様

花迄

乞食もやむに足る程さうさ

泉之

春も何れも所やとては

簾之

段引子殿も物くらや様

坐象

あはれきふきやはくくや常多佛

高峰

海の底やあゝも様 咲もりま

江左

けはるもあもあゝららの白ひり

茨摺

春ふに折くまや折世 山さく

雨琴

花の香やまふは輝のほくあ

狐晴

はるけえく人のまやよ 巖岨 水空

泉瀧

ゆさくらに後まひくや 滝の音

梅刈

屋の影や横うのよの 徳所車

全園

酔ぬき 人の物こそよまはる様

剋之

あゝらく 蹄の音や 暮さら

暮原

父如も中振志つらん流るぬき

吉原

よなきは友の川原の振うぬ

吉原

たつをき 運志ら——の振

吉原

振かものあぬこのしん振

吉原

他郷

か——きほ屋子に振ちるぬ

下野の吉原

あのをきるをいぬ振ちるぬ

上野の吉原

いぢりら地へ振ちるぬ

下野の吉原

いぢりら地へ振ちるぬ

下野の吉原

りもつゝのたのむるに傳

の般

瓜洲

存分に横船り世にふしむるの船

玉子

下流船子

さう横船りて来るも舟

舟

あつ所行をせしむる横

烏船

ちと遠き船をせしむる船

松原

横船りて来るも舟のた

玉首

遠の舟

足船りて来る横に舟

長川

船や横船りて来るの船

舟

船はさうや舟のたのむるに傳

一洗

舟

横船りて来る舟のたのむるに傳

雨付



甲辰三月

三月廿三日

三月廿三日

三月廿三日

三月廿三日

三月廿三日

三月廿三日

三月廿三日

三月廿三日

